**デンソー“プレ”プロボノプログラム**

**2018年度参加団体募集要項**

**１．「デンソー“プレ”プロボノプログラム」とは？**

デンソープロボノプログラムは、「課題解決」を仕事の定義とする株式会社デンソーの「デンソー流仕事の進め方」を活かして、市民公益活動団体（NPO）の地域や社会における課題解決力の向上（事業立案、基盤強化等）を目指すプロボノプログラムです。

第3期となる今年は、3日間の「“プレ”プロボノ」を開催します。「補助金や助成金を申請するときに書類の書き方に悩む」「自団体の活動がうまく伝えられない」…そんな団体におすすめです。

**２．プログラム概要**

3日間（全3回）の研修をプロボノ（デンソー社員）とともに受講し、解決を目指す社会課題・自団体の取り組みと問題点・今後の目標を明確にします。“プレ”プロボノ研修受講団体は、引き続きデンソープロボノプログラムへのエントリーも可能です。

1. **対象団体数**

2018年度は10団体の参加を想定しています。

**４．参加申込方法**

右記QRコードのフォームよりお申し込みいただくか、「デンソー“プレ”プロボノプログラム」2018年度エントリーシートにご記入の上、E-mailかFAXであいちコミュニティ財団事務局までお申し込みください。

※エントリー多数の場合、デンソーとあいちコミュニティ財団の本プログラム担当者が書類選考を行います。

選考結果については、7月4日（水）頃にメールにてお知らせします。

**５．参加申込受付期間**

2018年5月11日（金）～6月30日（土）必着

**６．募集説明会について**

デンソー“プレ”プロボノプログラムへの参加を希望する団体向けに、「名古屋」「刈谷」の2会場で「募集説明会」を開催します。参加を希望される方は、下記の日程をご確認の上、事前にお申し込みください。

●「刈谷」会場

・日時：2018年6月5日（火）19:00～20:30（受付18:45～）

・場所：刈谷市民ボランティア活動センター（愛知県刈谷市東陽町１丁目32-2）

●「名古屋」会場

・日時：2018年6月9日（土）13:30～15:00（受付13:15～）

・場所：株式会社デンソー 名古屋オフィス（愛知県名古屋市中村区名駅4-5-28　桜通豊田ビル15F）

【各会場共通】

●定員：15名

●参加費：無料

●申込方法（申込〆切：各募集説明会開催日の2日前）

右記QRコードのフォームよりお申し込みいただくか、E-mailの件名を「デンソープレプロボノプログラム　募集説明会参加希望」として、下記の必要事項をご記入の上、E-mailかFAXであいちコミュニティ財団事務局までお申し込みください。

＜参加団体募集説明会参加希望メール　記載事項＞

・お名前（ふりがな）　・ご所属（団体名など）　・希望される募集説明会の会場（刈谷or名古屋）

・メールアドレス　・緊急連絡先（携帯電話など）　・当日知りたいことなど

**７．プログラムの詳細**

 (1)　デンソー“プレ”プロボノプログラムの内容

* デンソー社員によるプロボノチームを研修に派遣（1団体あたり3～5名程度を想定）
* 3回の研修を通じて、プロボノチームとともに、解決を目指す社会課題・自団体の取り組みと問題点・今後の目標を明確にし、団体の活動や思いが伝わる申請書を作成する。

(2)　参加団体が実施すること

　・　以下の研修のすべてに参加

＜スケジュール＞

□18年7月 7 日（土）13:00～17:00　プレプロボノ研修（１）

　「解決を目指す社会課題を明確にする」

□18年7月21日（土）13:00～17:00　プレプロボノ研修（２）

　「地域社会における自団体の位置づけを明確にする」

□18年8月 5日（日）13:00～17:00　プレプロボノ研修（３）

　「課題解決に向けた自団体の課題（基盤強化・事業の立ち上げなど）を明確にする」

<研修会場>

株式会社デンソー 名古屋オフィス

（愛知県名古屋市中村区名駅4-5-28　桜通豊田ビル15F）

**８．活動支援金について**

プレプロボノ研修に参加する団体には、活動支援金として3万円をお渡しします。

**９．問合せ＆申込先**

公益財団法人あいちコミュニティ財団　事務局　担当：都築

E-mail: office@aichi-community.jp　Tel: 052-936-5101　Fax: 052-982-9089

〒461-0002　愛知県名古屋市東区代官町39-18 日本陶磁器センタービル5F

NPO法人中部リサイクル運動市民の会内

★「あいちコミュニティ財団」とは？★

あいちコミュニティ財団は、愛知県初の市民コミュニティ財団です。県内の地域課題を「見える化」し、その解決に挑む市民公益活動団体（NPO）へ“志金”を融通することで、安心できる地域の未来づくりに取り組んでいます。　<http://aichi-community.jp/>